

太平洋岸自転車道



○日本最長6県に跨るナショナルサイクルルートにおいて、基本的な方針や必要な取り組みを検討する場として、「太平洋岸自転車道ナショナルサイクルルート指定推進協議会」を設立。
また、各県単位で、道路管理者をはじめとし観光、自転車関係者を含め各地区協議会を設立し、運営。

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車走行空間や案内看板を整備

路面表示(矢羽根)や案内看板を設置し、自転車走行環境の整備を推進



路面表示(矢羽根)の設置



ルート案内の設置



太平洋岸自転車道を活用したイベント



(左: 2022 Cycle Around Wakayama 右: 和歌山紀中サイクルフェスタHUB22)



凡例

- 太平洋岸自転車道
- ゲートウェイ



サイクルツーリズム推進のための取組

○ゲートウェイを充実

・「道の駅とよはし」でも受入環境を整備



工具貸出し

情報提供

物品販売

レンタサイクル

○サイクルトレイン

- ・きのくに線 御坊～新宮駅間において運行
- ・白浜～新宮駅の区間においては、特急「くろしおサイクル」も運行
- ・自転車を持って、そのまま気軽に乗車が可能
- ・千葉県内においては、B. B. BASEが運行



○ホームページをリニューアル 情報発信の充実を図る

<https://www.kkr.mlit.go.jp/road/pcr/index.html>

- ・太平洋自転車道の魅力を写真やイラストで分かりやすく紹介
- ・フェリー及びサイクルトレインに関する情報を新たに追加
- ・その他、サイクルショップや宿泊施設等の情報を随時追加



(仮称) 富士山一周サイクリングルート



○富士山周辺におけるサイクリングを推進し、国内外から富士山周辺地域へサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化を目的に、ぐるり富士山サイクルネット研究会を2016年に設置

ぐるり富士山サイクルネット研究会

- ・ぐるり富士山風景街道の取組の一つとして、サイクルートの情報発信等を実施
- ・メンバー(NPO、地域の民間企業、道の駅、商工会議所、行政等)

凡例

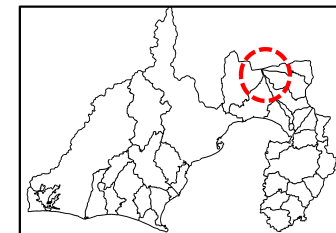
自転車走行空間整備状況

— R4.12月末時点整備済(約109km)

静岡県側整備延長 L=60km

山梨県側整備延長 L=49km

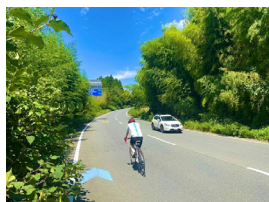
— R5年度以降整備予定(約38km)



快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車走行空間の整備

- ・矢羽根型路面表示等の設置
- ・自転車ピクトグラムの設置



(矢羽根型路面表示)



(ピクトグラム)

○ルート案内サインの整備(検討中)

- ・統一コンセプトを検討予定
- ・ルート案内標識等の設置

サイクルツーリズム推進のための取組

○バイクピットの整備を促進

○富士山1周サイクルイベントの開催

○日本風景街道と連携した情報発信

(ホームページ、SNS、サイクリングマップ等)



バイクピットの例



出典：ぐるり富士山風景街道



出典：ぐるり富士山風景街道

サイクリングマップ



凡例	
	サブルート
	世界文化遺産構成資産

全長約147km(静岡県側約70km、山梨県側約77km)

伊豆半島一周サイクリングルート



- 太平洋岸自転車道の一部として、矢羽根型路面表示の設置により自転車走行空間の整備を行い、全延長の整備が完了
- 伊豆地域では、東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催を契機に、バイクピットの整備、レンタサイクル、サイクルイベントをはじめ、官民を挙げてサイクルツーリズムの取組が活性化

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車走行空間の整備

- ・矢羽根型路面表示の設置
- ・自転車ピクトグラム
- ・注意喚起看板の設置(トンネル、急勾配)



(矢羽根型路面表示
設置箇所の走行状況)



(注意喚起看板) (ピクトグラム)

○ルート案内サインの整備

- ・統一コンセプトに基づき、案内標識を設置
- ・路面表示の設置

サイクルツーリズム推進のための取組

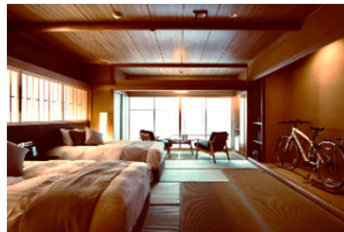
- バイクピットとサイクリストウェルカム宿の認定
- レンタサイクルやシェアサイクル(e-BIKE含む)の促進
- 「ガイドライド」や「e-BIKE試乗会」等のイベント開催
- 鉄道、バスや船等へ自転車を積み込むモーダルミックス拡大
- 情報発信(ホームページ、SNS、サイクリングマップ等)
- 伊豆e-BIKE充電ネットワークの構築



出典：伊豆市 観光情報サイト
バイクピットの例



出典：伊豆の国市HP
e-BIKEもレンタル可能(道の駅)

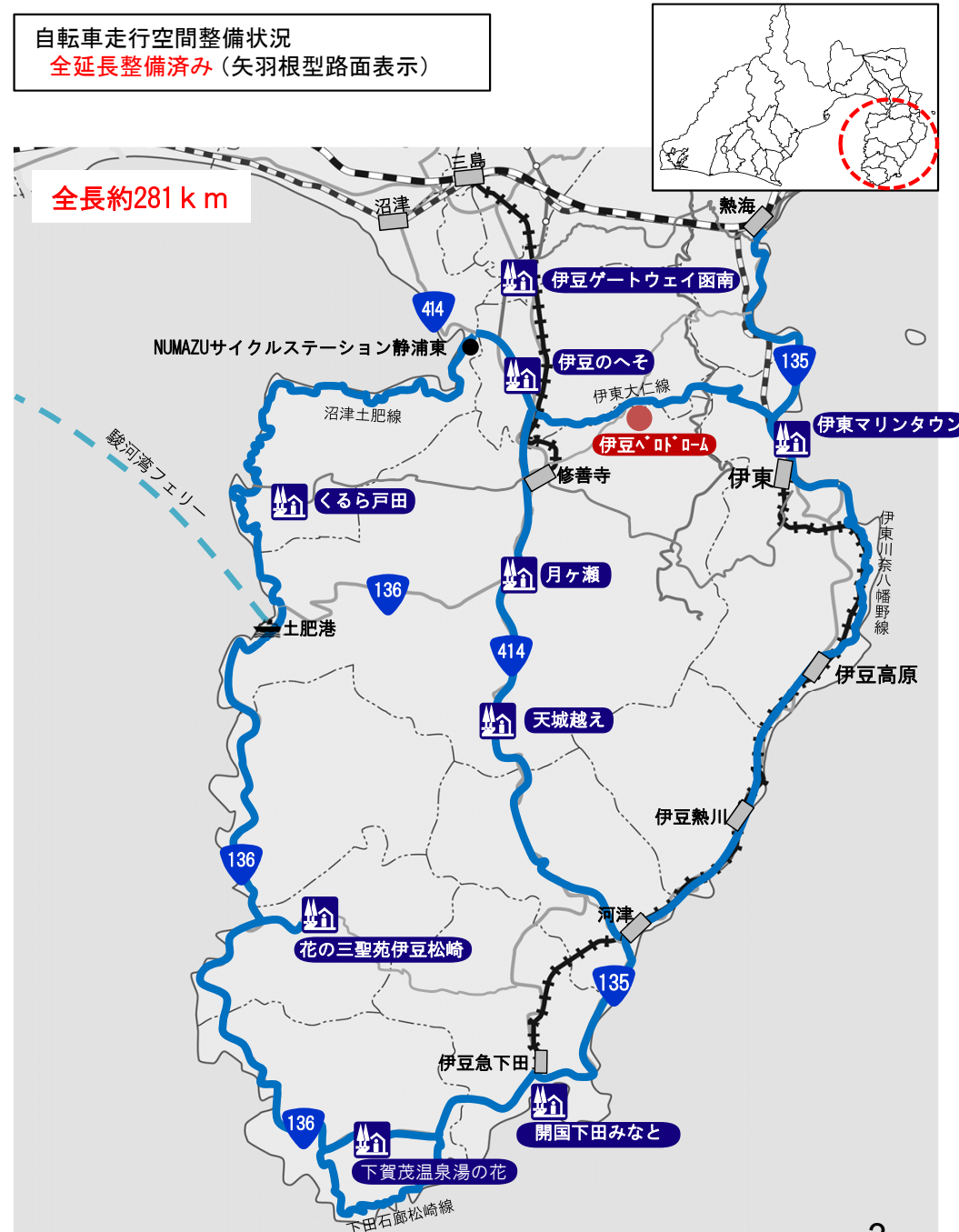


出典：コナステイ伊豆長岡HP
室内に自転車を持ち込みできる宿泊施設



バスや鉄道、船等との連携

自転車走行空間整備状況
全延長整備済み(矢羽根型路面表示)



浜名湖一周サイクリングルート“ハマイチ”



○浜名湖におけるサイクリングを推進し、国内外から環浜名湖地域へサイクリストを呼び、サイクリング観光の活性化を目的として、浜名湖サイクルツーリズム推進会議を2015年に設置

○関係機関と連携し、浜名湖サイクルツーリズム推進会議で設定したルートの矢羽根型路面表示や観光案内看板等を整備

浜名湖サイクルツーリズム推進会議
 ・情報発信や受け入れ態勢の整備等を実施(作業部会やワーキンググループを実施)
 ・メンバー(観光・自転車協会等、鉄道・舟運・道路事業者、新聞社、大学、行政等)

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車走行空間の整備

- ・矢羽根型路面表示の設置
- ・自転車ピクトグラムの設置

○ルート案内サインの整備

- ・路面表示及び自立型サインの設置
- 路面表示: 走行中のサイクリストを誘導
- 自立型サイン: 目的地までの案内や誘導、方向を伝える



(矢羽根型路面表示設置箇所) (路面表示) (自立型サイン)

サイクルツーリズム推進のための取組

- バイクピットとサイクリストウェルカムの宿の認定
- レンタサイクルの促進
- 「ガイドライド」や「大試乗会」等のイベント開催
- 鉄道や船へ自転車を積み込む「鉄道や舟運との連携」
- 情報発信(ホームページ、SNS、サイクリングマップ等)



バイクピットの例と認定施設用プレート

鉄道や舟運との連携

自転車走行空間整備状況
全延長整備済み (矢羽根型路面表示)

<天竜浜名湖鉄道>
 有人駅間で、専用輸行バッグを無料で使用可能



オリンピックレガシーロード



○ 東京2020オリンピックの自転車競技ロードレースコースをレガシーとして活用した広域サイクリングルートを整備し、首都圏から富士山エリアへのサイクリストの誘致とともに、地域の活性化につなげる。

やまなし自転車活用戦略会議・地域部会（富士北麓・レガシーロード部会）

- ・地域における取組の強化を図るため、市町村や民間（関連団体）等と連携、及び連絡調整や情報共有、意見交換等を行うことを目的に設置。
- ・メンバー（学識経験者、NPO、民間企業、観光団体、商工会議所、サイクリングチーム、行政等）

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車通行空間整備

- ・矢羽根等の路面表示を用いた自転車走行位置の明示
- ・注意喚起法定外標識の設置
- ・舗装の打ち換え

○案内看板の整備

- ・自転車用の案内誘導法定外標識の設置

○サイクリングロードの整備

- ・山中湖を1周できるサイクリングロードを整備



▲路面表示 (イメージ)



▲案内看板 (イメージ)



▲山中湖サイクリングロード
↑山中湖村HPより

東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコース

総距離：男子 約244km 女子 約147km
獲得標高：男子 約4,865m 女子 約2,692m



サイクルツーリズム推進のための取組

○サイクルサポートステーションの設置

- ・沿道に公共施設、民間施設を活用したサイクルサポートステーションを設置

○沿線景観の整備

- ・ビュースポットの整備（案内看板、ベンチ、カメラ・スマートフォン台等の設置）

○オリンピック開催記念整備

- ・モニュメント等の設置

○イベントの開催

- ・オリンピックのレガシーレースとして山中湖サイクルクラシックを2019年より開催

○ルートマップの作成

- ・サイクリングルートマップを作成、配布

○ロードレースコースのPR動画の作成

- ・オリンピック開催を契機としたコース沿線のPR動画の作成、配信

○ホームページやSNSを活用した情報発信

- ・山梨県および関連市町村のホームページやSNSでサイクリング関連情報を発信



▲サイクルサポートステーション ↑道志村HPより



▲山中湖畔 (ベンチ)



▲東京2020大会イベント

↑山梨サイクルネット構想 富士北麓地域計画書より



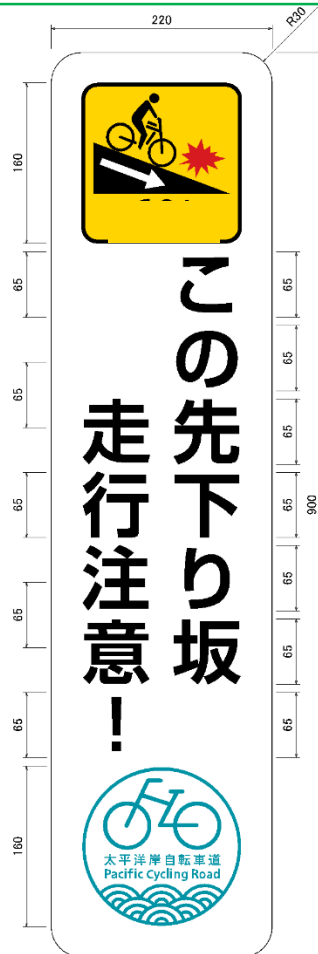
▲PR動画 (山梨県)



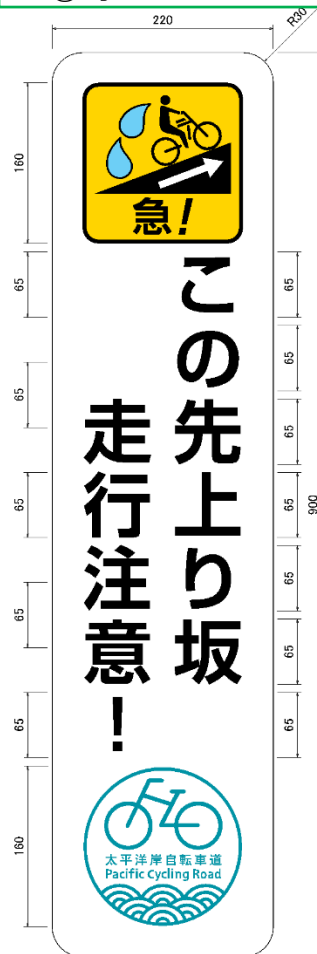
急勾配箇所での注意喚起看板の検討、設計

急勾配箇所について注意喚起看板の検討及び設計を実施した。6%以下の勾配が連続する間にさらに急な7%以上の勾配箇所が見られるため、注意喚起を強めるためにレイアウトを2種類作成した。工事は令和4年度以降に実施予定。

レイアウト分類基準が以下の場合の看板例
 ①下り
 ②勾配5%～6%



レイアウト分類基準が以下の場合の看板例
 ①上り
 ②勾配7%～9%



国道42号の急勾配の内訳

勾配	上り	下り	合計
5%	8	9	17
6%	11	25	36
7%	8	12	20
8%	5	1	6
9%	1	0	1
			80

全体の約3割

レイアウト 分類基準

- ①下り or 上り
- ②勾配 5～6 or 7～9%

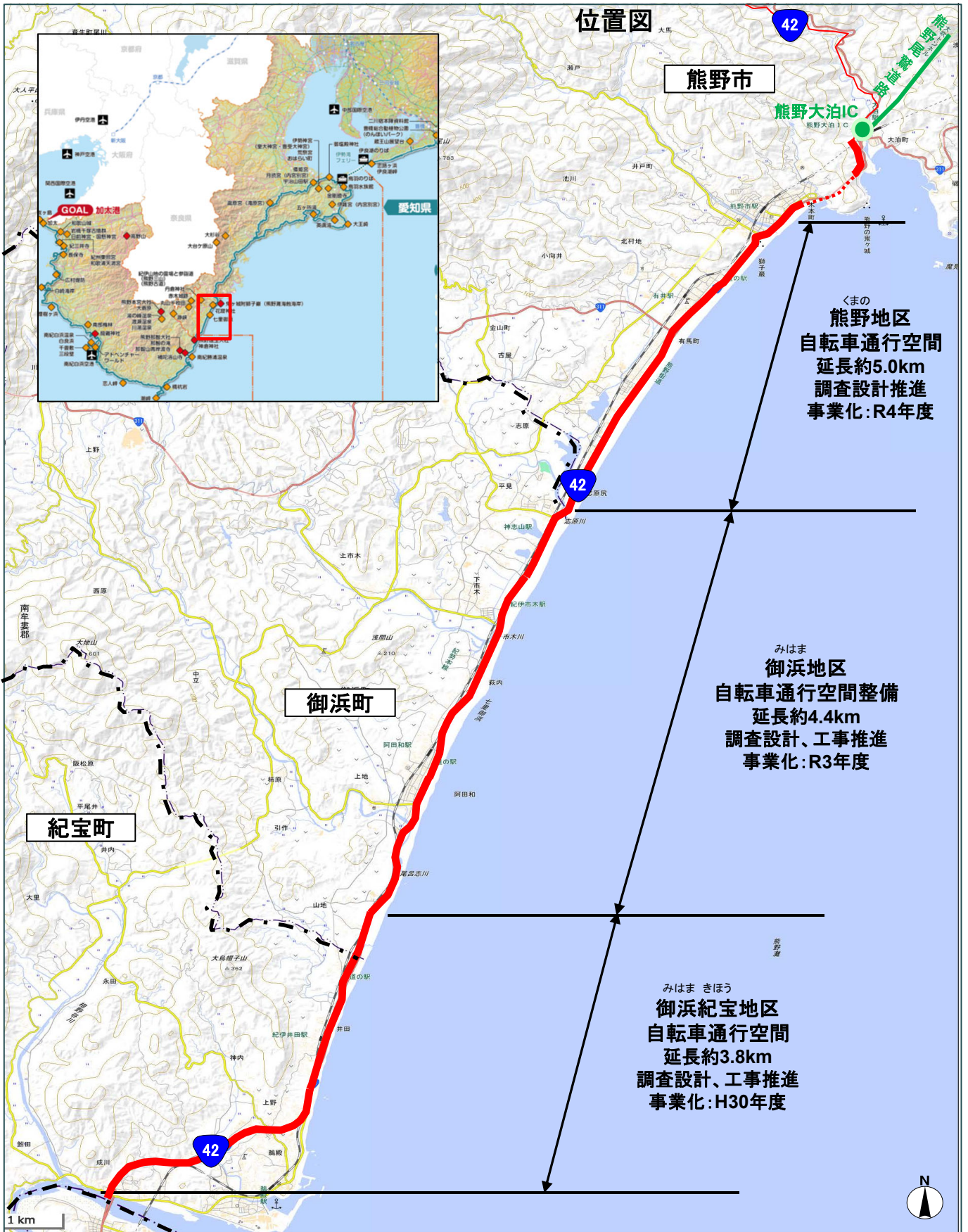
	下り	上り
5～6%		
7～8%		

ナショナルサイクルルートのロゴ設置

- 太平洋岸自転車道が通過する静岡県袋井市のルート上に、ナショナルサイクルルートのロゴを設置。



ひがしきしゅう
東紀州地域



令和4年11月17日
国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所

プロサイクリングチームと自転車道の安全点検を実施します！ ～太平洋岸自転車道の安全性・快適性向上を目指して～

◆お知らせ内容

令和3年5月31日にナショナルサイクルルートに指定された太平洋岸自転車道において、安全点検の手引き（案）を作成するため、道路管理者とプロサイクリングチーム等により設立した「太平洋岸自転車道の安全点検検討会」が、実走行による安全点検を実施しますので、お知らせします。

- 点検日時：令和4年11月22日（火）13時00分～
- 点検場所：太平洋岸自転車道（静岡市清水区三保周辺）
- 実施体制：太平洋岸自転車道の安全点検検討会

学識経験者、レバンテフジ静岡（プロサイクリングチーム）、
ふじのくに east サイクリストクラブ、
静岡県、静岡県警、静岡市、富士市、静岡国道事務所

- 点検内容：チェックリストを用いて、実走行による自転車道の安全点検を実施
詳細については、静岡国道事務所 HP をご覧ください。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/torikumi/anzen/bicycle-measure.html>

- その他：取材について希望される方は別紙3にて事前にご連絡ください。
現地安全点検にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、検温、消毒を徹底いたします。

雨天延期 ※開催の可否は11月21日（月）に決定いたします。

※代替日は11月25日（金）を予定。

1. 配布資料

- 別紙1：太平洋岸自転車道の安全点検について
- 別紙2：サイクリストの概要
- 別紙3：昨年度の安全点検の様子
- 別紙4：取材申込書

2. 配布先

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ、富士市記者クラブ

3. 問い合わせ先

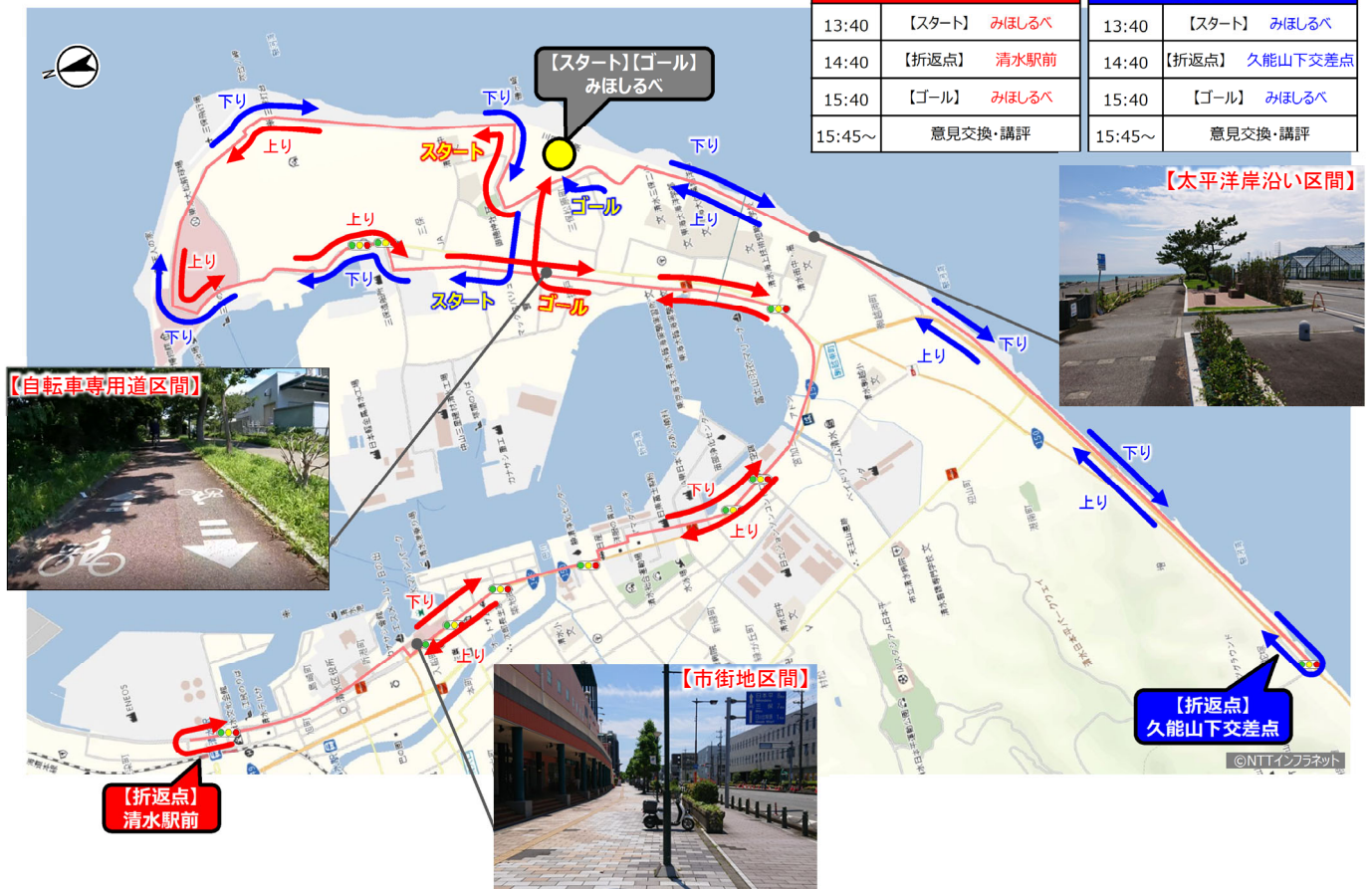
国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長 飯田 明弘
建設専門官 喜畑 友美

TEL 054-250-8907

■安全点検ルート

片道約1時間 [走行速度V=約10km/時(約6分/km) + 片道休憩10分程度として計画]

A班 (往復 約22.4km)		B班 (往復 約21.5km)	
13:40	【スタート】 みほしるべ	13:40	【スタート】 みほしるべ
14:40	【折返点】 清水駅前	14:40	【折返点】 久能山下交差点
15:40	【ゴール】 みほしるべ	15:40	【ゴール】 みほしるべ
15:45~	意見交換・講評	15:45~	意見交換・講評



■チェックリスト

種別	チェック項目
舗装・路面・排水施設	① 未舗装、ひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はあるか
	② パンクの原因となるガラス破片・釘の散乱、通行の妨げになる落下物 はあるか
	③ 植栽の通行空間へのはみ出し、街路樹からの落葉等の堆積はあるか
	④ 海沿いで水しぶきのかかる箇所はあるか
	⑤ 海沿いで砂が堆積している箇所はあるか
防護柵	⑥ 路外転落を防ぐための防護柵の不足箇所はあるか (車両用防護柵のみの箇所など)
附属物	⑦ 走行の妨げになる道路附属物はあるか (柵、標識、車止め等)
注意喚起	⑧ トンネル、橋梁部、急勾配箇所 等の注意喚起の不足箇所はあるか
案内誘導	⑨ 経路、分岐点、距離に関する案内標示・ピクトの不足箇所はあるか
	⑩ 矢羽根等の劣化はあるか
	⑪ 拠点(サイクリストに優しい施設) への案内に不足箇所はあるか (サイクルステーション、トイレ、ビュースポット等への一定間隔の案内)
その他	⑫ 多言語 (日英2か国以上) やピクトグラムでの案内の不足箇所はあるか
	⑬ 上記以外に気付いた点 (自由回答)

レバンテフジ静岡



- 静岡県を拠点とする地域密着型プロサイクリングチーム(2020.1発足)
- 日本最高峰のプロサイクルロードレースに参戦するほか、サイクルスポーツを通じた地域振興などの活動をしています。



交通安全講話(富士宮東高等学校)



2021JCL 湧水の郷おやクリテリウム



お茶で静岡を元気にしよう！
大淵笹場環境活動への参加



幼児向けのランバイク体験教室

ふじのくにeastサイクリストクラブ



- 静岡県東部におけるサイクリストの裾野拡大、安心安全な自転車環境の整備を目的とした任意団体(2018.11発足)
- 静岡県東部の自治体や企業、サイクリングクラブなど21団体が、自転車を安全に楽しむサイクリストの輪を広げようと活動しています。



2018.11「ふじのくにeastサイクリストクラブ」発足式



2022.10 富士山一周愛のメッセージリレー

昨年度の安全点検の様子

別紙3

日 程：2021年11月29日（月）

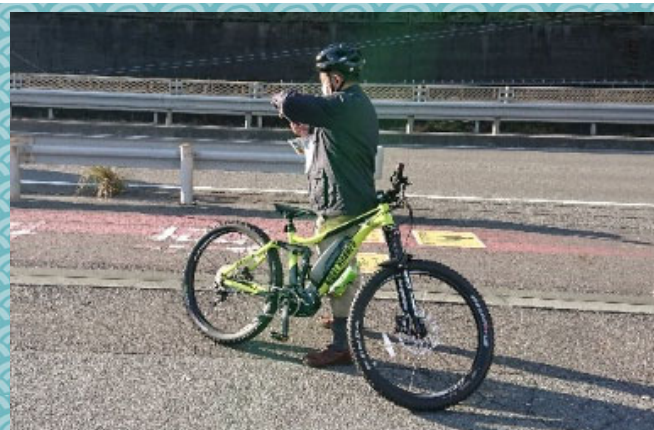
場 所：興津川右岸～道の駅「富士」



概要

○道路管理者とプロサイクリングチーム等により設立した「太平洋岸自転車道の安全点検検討会」が、実走行による安全点検を実施しました。

○今後は、安全点検の結果をとりまとめ、安全点検の手引き（案）を作成します。





2022年8月10日
 近畿日本鉄道株式会社
 松阪市・松阪市観光協会
 明和町・明和観光商社
 伊勢市・伊勢市観光協会
 鳥羽市・鳥羽市観光協会
 鳥羽商工会議所
 志摩市・志摩市観光協会

NEWS RELEASE

松阪駅～賢島駅間のサイクルトレインを本格実施します！ ～「鉄道」×「自転車」を融合した新たなおでかけスタイル～

近鉄では、本年4月に山田線・鳥羽線・志摩線（松阪駅～賢島駅間 57.6km）にて期間限定で実施したサイクルトレインを、2022年9月3日（土）から多客期を除き通年で実施します。

自転車をそのまま車内に持ちこみ、降車後すぐに自転車で移動できるスタイルはそのままに、平日は五十鈴川駅～賢島駅間の上下計21本で、土・日・祝日は松阪駅～賢島駅間の上下計44本で実施します。

「鉄道」と「自転車」を融合した新たなおでかけスタイルで、伊勢志摩地域での新しい旅をお楽しみいただきたいと考えています。この取り組みにより、沿線地域の活性化や魅力発信の一助になることを目指します。併せて地域の観光協会が運営するレンタサイクルと連携し、伊勢志摩地域でのサイクルツーリズムを促進していきたいと考えています。

詳細は別紙のとおりです。



対象列車に掲出するヘッドマーク



サイクルトレインご利用イメージ

「ケッタ」 愛好家専用列車を不定期運行へ 近鉄が3月に無料試乗会も

1/19(木) 8:00 配信 4

朝日新聞
DIGITAL



「KettA」へ自転車ごと乗るときのイメージ=近鉄提供

自転車と一緒に電車に乗ることができる専用列車を近鉄が3月から名古屋・大阪一賢島（三重県志摩市）で不定期で走らせる。無料試乗会も開く。人気の伊勢志摩地方でのサイクリングを楽しんでもらおうと企画した。

【写真】 KettAの車内には自転車をそのまま固定できる器具が設置される=近鉄提供

「サイクルトレイン—KettA（ケッタ）—」は通常、団体旅行などで使っている観光列車「つどい」の車両を利用。3両編成のうち1両に、自転車をそのまま固定できる器具を設置して23台を収容する。

3月から5月末までに名古屋・大阪上本町—賢島で5、6回の運行を計画している。料金は未定。

初回の3月4、5日は無料の試乗会とし、名古屋—賢島を1往復する。自転車は23台までで定員は50人。自転車を分解して輪行袋に入れて乗り込むこともできる。自転車ごと入る場合は近鉄名古屋駅の正面改札口から入る。応募者多数の場合は抽選。

近鉄は昨年9月から、鳥羽・志摩線（土日祝日は山田線も）で、普通列車の1両だけ自転車ごと乗れるサイクルトレインを運行している。

サイクルトレインをめぐるっては、地方の中小鉄道が相次いで導入。近年はサイクリング熱の高まりから、西武鉄道が多摩川線（東京）や西鉄（福岡）が特急で始めるなど大手私鉄にも広がっている。

近鉄での利用状況は昨年9月が114台、翌10月は94台と順調に推移している。今回のKettAの運行は、大都市のサイクリング愛好家にも乗ってもらい、鉄道の利用客を増やすのが目的だ。志摩市から助成も受けている。

詳しくは、近鉄のウェブサイトへ。3月4日は午前11時から、賢島駅に到着したKettAを迎えるお披露目イベントも開かれる。

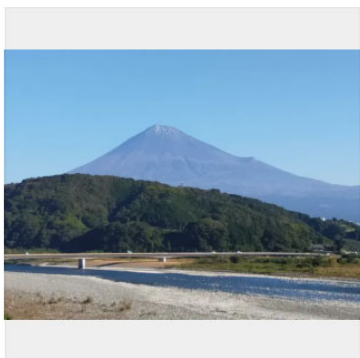
東海地方では方言で自転車を「ケッタ」「ケッタマシーン」と呼ぶことがある。（臼井昭仁）

人気の道の駅を拠点に、富士川・身延道を走る自転車の旅へ

11/9(水) 11:17 配信



旅行読売

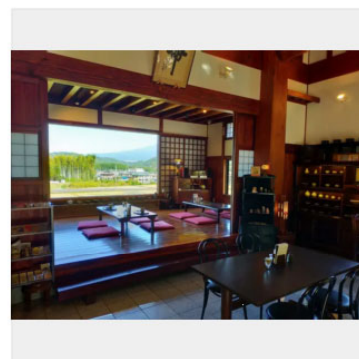


富士川楽座から望む富士山と富士川

全国の道の駅の中でもトップクラスの人気を誇る「道の駅 富士川楽座」。東名高速富士川SA上り線からも、一般道からもアクセスでき、しかも富士山を望む絶好のロケーションにある。静岡県産のグルメやショッピングはもちろん、子どもが楽しめる体験館から本格的なプラネタリウム、隣接する敷地には観覧車もあり、一日中いても楽しめるのが人気の秘訣だ。

その富士川楽座でレンタルe-Bikeのサービスが11月7日から始まった。車を置いて周辺を自転車でめぐるとい
う、富士市の新しい旅の魅力発見につながると関係者の期待は大きい。

例えば、周辺観光でぜひ立ち寄ってみたいスポットの一つが、富士川楽座から約4キロの場所にある「無上帟（むじょうど）」。ここは、古民家調の落ち着いた雰囲気のある建物に手入れが行き届いた庭があり、富士山を眺めながら、こだわりのコーヒーを味わえる隠れ家的なカフェ。その居心地の良さにリピーターが多く、行列ができるほどの人気を集めている。



落ち着いた空間で富士山を眺め、ゆったりとした時間を過ごせる



11/6に行われたe-Bikeを利用したモニターツアーの様子

富士市だけでなく、隣接する富士宮市、山梨県の南部町や身延町でもレンタルe-Bikeによる観光交流の増加が期待されている。というのも、富士川沿いを上って身延山に続くルートは、古くから身延山詣の信仰の道と知られ、由緒ある寺院などが今も数多く残っている。富士川楽座から身延山久遠寺までは約40キロの距離があるが、e-Bikeなら往復することも可能だ。富士川流域の歴史や文化に触れたり、寺社をめぐりながら御朱印を集めたり、富士川楽座のパーク&Bicycleライドで、富士川流域のより自由な旅が可能になった。

レンタルe-Bikeは、3時間まで2200円（以降1時間ごとにプラス550円）。詳しくは、富士川楽座1Fの観光案内所／旅行センター（電話0545・81・5556）まで。

※e-Bikeはスカートや裾の広いズボン、ヒールや厚底靴、サンダルなどでは利用できないので注意。

出展：yahoo! JAPAN HP